

平成 28 年 9 月 24 日（土） 芦部校区 タウンミーティング 参加者 20 名

【地域の課題】

市民：芦部校区の自治会館、町会館の中にはすでに AED が設置されているところもある。最近 AED で助かったという事例も聞き、地域の方が集まる町会館自治会館に設置できればと思う。新たに設置するとなると何十万円かかるし、すでに設置している町会自治会館にしても更新するのに数万円の更新料がかかる。住民が安心できるように設置をすすめ、スムーズに更新できればありがたいと思う。補助金を出して頂くことはできないか。

市長：補助事業は有り、自主防災組織を結成いただいている所には、機材購入の時に AED の補助対象になっているので、活用頂きたい。地元の組織の状況は。

市民：当校区では自主防災組織はできていないところがほとんど。

市長：ぜひとも進めていただきたい。

市：自主防災組織を設立されるときに、資機材購入費として 20 万円の補助がある。

昨年度から、購入して古くなってきた場合、設立 3 年の翌年から追加で 10 万円の資機材の購入補助があるので、是非とも自主防災組織を設立して頂ければと思う。

市民：校区の中で、お互い知恵を出し合って進めていきたい。

市長：地域は自分達で守る。もちろん行政もしっかり守るが、その要として防災組織の設立をぜひともお願いしたい。

市民：この芦部校区においてもため池がたくさんあり、昨年度出した課題もあるが、弥生町に今池、三つ池が有る。そこの池は田植え等に使われていたが、時代の流れ、社会環境の変化であまり水が使われなため、停滞し汚臭を放っている。また、ガマの穂が有る時期一斉に飛び、近隣の住民の洗濯物に綿毛がついて非常に困るという声がある。昨年度も出した阪本町地番になる東阪本町にある池だが、面積がかなり広く、昔は水田もあったが現在は作らなくなり、浅い池の部分が広域にあってガマが今たくさん生えている。東阪本の方はガマの穂が飛んできて困っており、刈ってもすぐに生えてくるということでなかなか解決しない。ガマの穂が飛んできて、洗濯物の生活の問題等があるが、それ以外に冬になるとガマが枯れる、そこに投げタバコがあれば大きな火災になるおそれがあり、何とか環境の改善ができないか。役所にも話をしているが、なかなか水利組合等の問題もあって進まないようで、いい対応があればこれまでの経過も含めてお尋ねしたい。

市長：難しい。管理は水利組合になるので、市の管理ではないので手が付けられない。弥生町の 1 丁目の横、水利組合さんの今池。昔は水があったが、今はガマの穂が一面にあるし、三つ池も最近かなり発生していて、特効案が無いが、浦池には私も視察に行き、工事の出来る部分についてはしていきたいのだが、工事車両が入る道がない。こどもがいる地域なので、工事車両も困るという状況。これも今いい案がない。できたら埋めて改修して、住宅地として分譲できたらと思うが、進められない。今

のところいい知恵が浮かんでこないが、何か提案があればいただきたい。

市民：相当以前だが、今池、三ツ池の水を定期的に抜いて、きれいに整備されていたと思うが、今市長の言われたように水利組合にしてみらうということが以前はできたと思うが、高齢になられて大変な作業になると思う。市としては何とかできないかということをご提案させて頂いた。

市長：今池、三ツ池だけでなく他の水利組合も、高齢化していく。実際に活動していないので予算も捻出できない状況で、それを放置すると問題も出てきて、余計に手が付けられないことになっていく。新しい制度を考えないといけない。

市民：弥生町に5か所位池がある。池がきれいな状態でないと、車で通る人が吸い殻を捨てたり、いろんなものを廃棄したりということが起こる。

市長：不法投棄の問題。財産管理としては水利組合にしてみらうと。その辺を整理しないといけないと思う。新しい制度について検討していきたい。前はそんなひどくなかったが、その前は藻、水草があってそこから水質が悪くなった。

市民：和泉市のメインになる中央線だが、桑原大橋から観音寺交差まで、だいぶ傷んでおり、メインの道路なのにきれいに気持ちよく走れる道路にならないのか。計画されているとは聞いているが。

市長：和泉市には道路が沢山あるが、和泉市が整備するのは市道、大阪府は府道の補修をするが、和泉市道路補修修繕計画を今年度上期に作り、今年度中に和泉中央線の該当箇所については補修する計画を行っています。大体道路補修というと予算年間で2億円かかる。優先順位をつけながらしているが、まず中央線を最優先にする。他にテクノステージ、光明台等もやっていくが、まずは中央線をさせて頂く。

市民：どちら側からするか決まっているか。

市長：桑原大橋の山手へ向かって左側から片方ずつする。右側は今和泉市立病院の工事をしている。再来年の春に病院が出来るが、来年の春位までは工事車両が通り、舗装をしてもまた傷むので、それが終わってから、川下側、海側をすることとし、まずは山側からするが、ご要望があれば。

市民：いいえ。

市民：生活している人の身近なイライラするような課題だが、犬の散歩等される方の多くの方は糞を取る道具をお持ちですが、処理をしない人がいる。人が見ると取るが、人がいないところへ行って中の糞をポイ捨てするとか、人が見ていなかったら糞を取らないとか。注意をしようとするとなみつけて注意させないようにさせる。あの人に声をかけると怖いよという声も聞く。自治会では生活環境課の方でポスターを作って頂いてついたりしているが、なかなか解消されない難しい問題。それから猫について、野良猫が増えて来て、猫が家の庭に来て糞尿をし、臭いもして困る。あそこの方が餌をやるよと何とか言ってほしいという自治会町会にクレームもある。自治会から直接言いに行っても、わかりましたと言ってまた餌をやっている状況。啓

発ということで、府の施設でそういう指導をしていただくところもあり、野良猫にえさをやらないようにしようという啓発文章を回覧したり、猫が嫌がるという方法について指導を受けてやるがこれも効果が出てこない。泣き寝入りをしているという現状。地域の努力だけでは解決しないところ。市民のマナーが上がる方法があればと要望にした。

市長：もちろん猫犬の糞の放置の問題もあるが、和泉市ではゴミのポイ捨てに取り組んでいる。条例を作っても、仏を作って魂入れずになるので、我々が最初に取り組んだのは、清掃を自分らでしようということで、5年くらい前から今もしているが、和泉市の玄関である府中駅から役所に来る間はゴミが多いということで、毎月朝7時半から8時まであいさつ運動をしているとき10人～15人位職員が行くのだが、信太山、北信太は邪魔になるので、その半分が駅の回りを掃除している。吸い殻や犬の糞も掃除し、そういうことをずっと続けてきていて、吸い殻も減らないので2年半前に、いよいよ条例を作った。ごみ等のポイ捨て、条例で、それ以外も生活環境も糞の放置とか、鳴き声の予防にも努めているが、個人のマナーによるので、無視する人もいて、堺市や大阪市では条例を作った後に、罰金、過料を千円～2千円を課している。和泉府中駅でもここからここまではタバコを吸ってはいけないエリアというものを作ったりと、警察OB等経験ある方を雇用して監視するというような段階に来ているのかなと思う。泉佐野市も犬の糞で罰金をとるということをして、トラブルになっている。その辺は難しいかと思うが、駅前の美化もあり、タバコのポイ捨てについては罰金を科す必要があると思う。野良猫を地域猫という表現もするが、難しい。餌をやっている人がかわいそうだからとやっているのだから、注意してもやめない。うちも猫の被害にあって庭に野良猫が入って来てあちこちに糞をして、ある時、掃除していたら、2キロ位の糞がいくら掘っても出て来て、縁の下にもしてあって、生垣でも切って、猫が入ってこられないように塀をやり直そうかなと思ったりした。猫を飼育するネコロジーと言う、地域猫をなくそうとしているグループがあり、猫の去勢手術や避妊手術をしているのだが、長い期間かけて地域猫をなくすしかないということから、ゲージに餌を入れて、猫を捕まえては避妊手術をしている。私は犬2匹、猫4匹を飼っており、かかりつけの獣医さんがいて、そこで避妊手術をして頂くが、和泉市も避妊と去勢の助成については今年から実施していて、飼い主がない猫避妊去勢手術助成金交付制度として、5千円程だが助成を出している。こちらが積極的に猫をシャットアウトするとか、猫を捕まえて去勢したら、長期的に少なくなるし、そういうことを地域で積極的に取り組んでいただけたら。猫もそうやって見ているとかわいい所もあり、去勢したら耳を桜の葉っぱのように切込み入れるんです。地域猫を減らしていくしかないかと思っています。

市民：参考になりました。ありがとうございます。

市民：ゴミの件と、今の糞の件だが、一番大事なのは行政的に市長が言われた形で努力し

ていただけたらいいのだが、一番大事なのは人のマナー。どうしたら上がっていくかと言うことを市で 考えて頂けたらと思う。名古屋へ行くことが多いが、名古屋市はいつ見てもきれいで道にゴミがない。何かあるのかなあとと思う。私は川の水を使って花を作っている者だが、ポイ捨て、糞をとってそれを帰りに川に捨てる。それを僕らは手でふれている。溜まっているときはすごく溜まっている。一番大事なのはマナーを向上させることで、市の行政で、ポスター等いろんな形で対策してほしいと思う。

市長：おっしゃる通りで、特効薬がなく地道な啓発活動しかない。それが実る例もある。和泉市では交通事故死ゼロを目指して、残念ながら先日出たが、平成 24 年から先月 8 月まで交通死亡事故ゼロだった。かなり積極的に啓発活動を頂いて、交通事故も少なくなっている。街頭犯罪も多く 13 年にピークだったが、そこから安全なまちづくり協議会を作って啓発活動を続けると 4 分の 1 位になった。自殺について、日本では自殺が年間 3 万人ほどあり、世界でも日本がダントツに多かった。それまでは積極的に取り組んでいなかったが、国の方でも自殺者への啓発活動をしていこう、自殺する前に相談体制を作っていこうと。こんなの効果があるのかなと思っていたが、効果があった。去年から自殺者が 3 万人を切った。気長な取り組みで、マナー向上のためには啓発活動を続けていくしかない。協議会では、女性団体、文化芸術団体等、色々な団体、色々な層の方が入って頂いてる会で、地道な活動だが確実に浸透していく。そういうものの中で、マナー向上を図っていきたいと思っている。

市民：その通りだと思う。

市長：保護士会も実行委員会を作って頂き、盛大にさせていただき、地道に活動して頂いている。

#### 【市長との意見交換】

市民：災害時の避難場所の件。台風 16 号が来て、私は弥生町だが指定避難場所は芦部小学校というメールがあった。弥生町の、特に上の方から言うと、芦部小学校はかなり遠い坂道で大変。1 丁目の方はまだいいが、3 丁目は大変で、住民の方はいぶき野小の方が近い。仮避難場所として自治会館等との意見があるが、その辺現実的対応をしてもらえるようお願いしたい。

市長：避難場所は 31 か所、小中学校があるのだが、長期的に滞在していくということをしているが、すぐにそこに行けない想定外の事が出てくる。網の目を細かくして自治会館とか工場の倉庫とかの堅牢なところを緊急避難場所に指定していき、災害時にはすぐにはそこへ行くが、長期的になったら小中学校に行ってもらおうというしくみ作りをしたらどうかと考えている。これは課題として取り組んでいく。

市民：自主防災組織もあるが、まだ申請してないが、これからいろんなことを備えて行く必要があると思う。自治会館の食料等の備蓄も必要で、その指導もまたお願いしたいと思う。

